

“いつでもどこでも無料で PCR 検査をうけられる”

検査体制を鎌ヶ谷市でも作りましょう！！

——478 名の署名提出——

これまでコロナ禍における PCR 検査の実施を積極的に訴えてきた市民・議員が集まり 11 月初旬から『#PCR 検査を増やそう』署名活動を始めました。

本来もっと多くの市民に訴えなければならぬのですが、新型コロナウイルス感染状況が逼迫している中一日も早く実施体制を取っていただきたく 11 月 26 日までに集約した署名 478 名を鎌ヶ谷市長に届けることにしました。

署名の要望項目は①発症患者さんの周辺の人で希望する方には PCR 検査が出来る体制を②医療機関・高齢者施設・障がい者福祉施設等の職員・従事者ならびに入所者への、感染症状が発生していない段階から PCR 検査をする体制を③高齢者・持病を持っている市民からの PCR 検査希望に答える体制を④コロナ対策を立てるための社会的検査が出来る“抗体・PCR 検査体制”を作ってください。です。

清水市長は「担当に検討させます」と言うだけで、“積極的に拡充したい”といった言葉は発しませんでした。

新型コロナウイルスを制圧していくには“精密医療”をもって“無症状感染者”を早く把握しクラスターにならないようにしなければなりません。先般世田谷で無症状者 1000 人を PCR 検査をしたら 14 人の無症状感染者が確認され、療養・治療でクラスターを防いでいます。

今、世田谷区以外の自治体でも PCR 検査を始めています。

市川市は唾液による PCR 検査を“希望する市内の高齢者全員に行く”。又“基礎疾患のある 60～64 歳の市民も検査対象とする”と約 1 億 7500 万円の補正予算を計上。

鎌ヶ谷市は 12 月補正で「65 歳以上の高齢者で、高齢者施設に新規に入所する人+すでに入所している人、の中から希望する方」に唾液による PCR 検査を実施する予算を計上。費用は 2 万円までは無料、それ以上の部分は市民負担（実際は 2 万円以内でできるようにするとの事）です。高齢者施設入所者は 969 人ですが 500 人を予定し、予算額は 1377 万 2000 円。実施期間は 2021 年 1/4～3/31 です。

ただ“基礎疾患のある者を対象とする国の事業”を今回は実施しないとの事です。

鎌ヶ谷市の今回の施策は「一定の高齢者等や基礎疾患を有するものが本人の希望により検査を行う場合の国の助成制度」を使って PCR 検査の拡大を開始するものです。2 万円のうち二分の一は国庫負担、二分の一は市負担ですが市負担分は「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」で国から財政措置されます。

鎌ヶ谷市も一歩踏み出しましたが高齢者施設で従事する人への検査がなく、障害者施設や医療機関の従事者・入所者への PCR 検査への方向性も検討されていないのは残念です。

国(厚労省)は 8/7・9/15 の事務連絡で「感染者が多数発生している地域やクラスターが発生している地域においては、医療施設、高齢者施設等に勤務するものや新規入院・新規入所者等については当該施設で感染者がいない場合であっても感染症にかかっていると疑うに足る正当な理由がある者として行政検査の対象としてよい」と、コロナ感染症の感染拡大防止のため幅広く行政検査を実施してくれと言っています。一日も早く体制を作りましょう。

「民主主義と自治そして平和主義」ふじしろ政夫 047-445-9144

*活動報告 HP に掲載「いい鎌ヶ谷ふじしろ政夫」でアクセスできます。

